

世界最大の生きている両生類
オオサンショウウオ生息地



指定区分	国指定天然記念物
読みかた	おおさんしょうおせいそくち
所在地	真庭市(旧湯原町・川上村・八束村・中和村)
指定年月日	昭和2年4月8日
解説	別名「はんざき」。山地の渓流域に生息し、一生のほとんどを水中で過ごす。夜行性で、夜になると川底を這いまわり、魚類やカエルなどを捕食する。視力が弱いため、すぐ近くにきたものしか捕食できない。幼生は成体同様黒い色をしており、生後4～5年で成体となる。指定は個体保護のための地域指定であり、国内では岡山県以外にも3カ所指定されている。また個体は特別天然記念物に指定されている。
アクセス方法	
公開状況	
設備	
備考	湯原温泉街から徒歩約10分のところにオオサンショウウオの保護を目的として「オオサンショウウオ保護センター(はんざきセンター)」が設置されており、常時観察することができます。(開館8:30～17:00/休館:水曜日・年末年始/入場無料)また、センターの敷地に隣接して「はんざき神社」には「はんざき大明神」が古来よりまつられています。毎年8月8日には、はんざき祭りが行われます。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定天然記念物
ぶんかざいめい (文化財名)	オオサンショウウオ生息地
よみかた	おおさんしょうおせいそくち
しょざいち (所在地)	真庭市(旧湯原町・川上村・八束村・中和村)
していたひ (指定した日)	昭和2年4月8日
せつめい	山の谷川にすんでいて、一生のほとんどを水の中ですごします。夜行性(やこうせい)で、夜に魚やカエルなどをエサとして食べます。目はほとんど見えないようです。別名は「はんざき」ともよばれています。湯原温泉(ゆばらおんせん)のまちから歩いて10分くらいのところに「オオサンショウウオ保護センター(はんざきセンター)」があり、観察(かんさつ)することができます。